

明石工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	音楽-1
科目基礎情報					
科目番号	6120		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	①歌いやすい合唱曲の楽譜 ②コードネームに関するプリント ③音楽 I Tutti+(教育出版)				
担当教員	泉 由香				
到達目標					
1. 発声と合唱の基礎を習得し、実践できる。 2. コードネームの基礎を習得している。 3. リコーダーの基礎を習得し、実践できる。 4. 音楽的なパフォーマンスについて企画・実践できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	発声と合唱の基礎を十分に習得し、自在に実践できる。		発声と合唱の基礎を習得し、実践できる。		発声と合唱の基礎を習得・実践ができない。
評価項目2	コードネームの基礎を十分に習得している。		コードネームの基礎を習得している。		コードネームの基礎を習得できない。
評価項目3	リコーダーの基礎を十分に習得し、自在に実践できる。		リコーダーの基礎を習得し、実践できる。		リコーダーの基礎を習得・実践できない。
評価項目4	音楽的なパフォーマンスについて的確に企画・実践できる。		音楽的なパフォーマンスについて企画・実践できる。		音楽的なパフォーマンスについて企画・実践できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	音楽を通して自分自身を表現する喜びを知る。ちまたに溢れる使い捨ての音楽だけでなく、時代を経ても生き残る本物の「音楽」を洋の東西を問わず体験する。				
授業の進め方・方法	授業は主として音楽表現の実技形式で進める。 連絡員：ハーパート ジョン				
注意点	テキストや楽曲はレベルの高いものもあります。丁寧かつ真剣に練習しなければ達成感を得ることができません。また「音」を扱う科目なので不要な私語は慎むこと。リコーダー(全員)・ピアノ(もしあれば)を用意すること。 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課。 実務経験：声楽家として国内外でのリサイタルやオーケストラとの共演があり、その経験を活かして、学生に音楽上の具体的かつ最新の情報でもって指導できる。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	パート分け、グループ分け、ストレッチ、発声練習、簡単な2声の曲を歌ってみる	簡単な2声の曲が歌える。	
		2週	合唱のためのエチュード I	ピアノ伴奏の付いた簡単な曲が歌える。	
		3週	合唱のためのエチュード II	ピアノ伴奏の付いた簡単な曲が歌える。	
		4週	コードネームの基礎 I	最も簡単な3和音を理解する。	
		5週	合唱のためのエチュード III	2声部または3声部のJ・POPを合唱できる。	
		6週	合唱のためのエチュード IV	小人数でも音程が正しくとれるようになる。	
		7週	合唱のためのエチュード V	小人数でもハーモニーが美しく響かせられるようになる。	
		8週	コードネームの基礎 II	コードネームの練習と小テストグループ発表のための最終練習。	
	2ndQ	9週	合唱のためのエチュード VI	グループ発表のための最終練習。	
		10週	合唱のためのエチュード VII	グループ発表し、自己満足ではなく人に何かを伝えられるようになる。	
		11週	リコーダーの基礎 I	リコーダーの魅力を再発見する!	
		12週	リコーダーの基礎 II	簡単な合奏曲を吹ける。	
		13週	実技テストのための企画・練習 I	自分の得意分野での自由な音楽パフォーマンスを企画する。	
		14週	実技テストのための企画・練習 II	自分の得意分野での自由な音楽パフォーマンスを企画・練習する。	
		15週	実技テスト兼「クラス発表会」	実技テスト兼「クラス発表会」	
		16週	期末試験実施せず		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	チームワークとリーダーシップ	チーム活動において意見の相違や対立を踏まえて合意形成に向けて行動できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

				チーム活動の目標共有を図り、目標達成に向けた行動を実践し、また、チームの協働を促進するための行動ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
基盤的資質 ・能力	自己理解	自己理解		自己理解に基づき必要な対応や行動を検討できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
	主体性	主体性		自分が果たすべき役割や行動について認識できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				自分が果たすべき役割や行動を実践できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
	自己管理と責任ある行動	自己管理と責任ある行動		自分に求められる役割や行動を把握し、確認できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				やるべきことを実行するための具体的な行動や計画を考えることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
倫理観	倫理観		自分の判断や行動、及びそれらがもたらす結果や影響について、倫理的観点から検討、評価できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	

評価割合

	出席状況	平常点	実技テスト	歌またはリコーダー小テスト	コードネーム小テスト	合計
総合評価割合	10	15	35	20	20	100
基礎的能力	10	8	25	20	20	83
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	7	10	0	0	17